

# 2024年度 事業報告書

2024年(令和6年)4月1日から2025年(令和7年)3月31日まで

公益財団法人 SOMPO美術財団

## I. SOMPO美術館関係事項

1. 美術館で実体験できる「個性的で魅力的な展覧会」で、心豊かな社会をつくる。

<1> 美術作品の収集、保存、公開(博物館法第13条第3項)

(1) 展覧会の開催(博物館法第13条第6項)

① 北欧の神秘 —ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画

会期:3月23日(土)~6月9日(日)

共催:NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

特別協賛:SOMPOホールディングス 協賛:DNP大日本印刷

特別協力:スウェーデン国立美術館、フィンランド国立アテネウム美術館、  
ノルウェー国立美術館、損保ジャパン

協力:フィンエアー、フィンエアーカーゴ

後援:スウェーデン大使館、フィンランド大使館、ノルウェー大使館、新宿区

企画協力:S2

本展は、ノルウェー国立美術館、スウェーデン国立美術館、フィンランド国立アテネウム美術館という3つの国立美術館の協力を得て、各館の貴重なコレクションから選び抜かれた68点の作品を展示。19世紀から20世紀初頭の国民的な画家たち、ノルウェーの画家エドヴァルド・ムンクやフィンランドの画家アクセリ・ガッレン＝カッレラらによる絵画などを通して、北欧の知られざる魅力を紹介した。また、出品作品をイメージした世界を再現した音空間を展示室で展開するとともに、ノルウェー人画家テオドール・キッテルセンの作品をテーマにした映像+BGMを作成し、本展では出品できなかった紙作品をアニメーション化した。

【関連イベント等】

学芸員のギャラリートーク (5月10日、5月24日)

対話による鑑賞会「ギャラリー★で★トーク・アート」 (6月3日)

【主な放送・掲載誌等】

NHK「首都圏ニュース 645」(3/30、4/27、5/3、6/2)、NHKE テレ「日曜美術館

アートシーン」(4/21、4/28)、MX テレビ「はじめての美術館」(5/12)、

朝日新聞夕刊「美の履歴書」(4/9)、朝日新聞「Arts&Culture」(5/20)、

「芸術新潮」4月号(6P 特集)、ウェブサイト「美術手帖」「インターネットミュージアム」「美術展ナビ」「Tokyo Art Beat」「SPICE」等

② フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線

会期:6月22日(土)~9月23日(月)

共催:日本テレビ放送網 特別協賛:SOMPOホールディングス 協賛:光村印刷

特別協力:損保ジャパン 協力:NX 日本通運、日本貨物航空 後援:新宿区

企画協力:日テレイベント、日本テレビサービス

アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック(1864-1901)の素描や版画など紙媒体の作品を収集した個人のものとしては世界最大級の質と量を誇るフィロス・コレクションから素描や水彩画約70点に加え、画家のアイコン的な作品であるポスター、雑誌や書籍の挿図として制作された版画、ロートレックが家族や知人に宛てた手紙など、作品と資料あわせて約240点を紹介した。

### 【関連企画】

「新宿のムーラン・ルージュー大衆演劇と美術」

日本におけるレビュー等の劇場文化と近代美術の交流、及びその新宿での展開について館内で映像を上映するとともに、観覧者に小冊子を配布した。

### 【関連イベント等】

学芸員のギャラリートーク

(7月5日、8月2日)

対話による鑑賞会「ふぁみりー★で★とーく・あーと」

(8月5日)

### 【主な放送・掲載誌等】

ラジオ日本「坂上みきのエンタメ go! go!」(6/24～6/28)、日本テレビ「日テレアップ date!」(7/21)、NHKE テレ「日曜美術館アートシーン」(7/28)、朝日新聞「美の履歴書」(7/30)、ウェブサイト「美術手帖」「インターネットミュージアム」「美術展ナビ」「サライ.jp」「Pen」、フランス語とフランス文化のウェブサイト「Chocolat!」ポッドキャスト第 630 回(7/6 配信)

## ③ カナレットとヴェネツィアの輝き

会期:10月12日(土)～12月28日(土)

共催:毎日新聞社、スコットランド国立美術館

特別協賛:SOMPOホールディングス、DNP大日本印刷 特別協力:損保ジャパン

協力:日本航空、日本貨物航空、箱根ガラスの森美術館、ITA エアウェイズ

後援:駐日イタリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル、新宿区、TOKYO MX、

J-WAVE

18世紀ヴェネツィアで活躍したヴェドゥータ(景観画)の巨匠カナレット(1697-1768)に日本で初めて焦点を当てた本展は、スコットランド国立美術館を始めとする英国のコレクションを核に、油彩・素描・版画等約60点で構成し、ヴェドゥータの成立過程を辿るとともに、カナレットの生涯と画業、同時代や後代への影響を検証した。

### 【関連イベント等】

学芸員によるギャラリートーク

(10月18日、10月25日)

対話による鑑賞会「ギャラリー★で★トーク・アート」

(11月25日)

### 【主な放送・掲載誌等】

YouTube「山田五郎 オトナの教養講座」(10/11、10/18)、NHKE テレ「日曜美術館アートシーン」(12/8、再放送 12/15)、J-WAVE「DIGUP!」(10/10 放送)、読売新聞「美の葉」(11/6)、読売中高生新聞(11/15)、共同通信配信(12/5)、朝日新聞「美の履歴書」(12/10)、東京新聞 杉全さんコーナー(12/10)、週刊新潮(12/12)、ウェブサイト「美術手帖」「インターネットミュージアム」「美術展ナビ」

## ④ 絵画のゆくえ2025

会期:1月18日(土)～2月11日(火)

共催:読売新聞社 特別協賛:SOMPOホールディングス

特別協力:損保ジャパン 後援:新宿区

本展では公募コンテストFACE2022からFACE2024までの3年間に「グランプリ」「優秀賞」を受賞した作家たち12名の近作・新作約80点を展示し、受賞後の展開を紹介した。また、過去3年間の「グランプリ」受賞作品もあわせて展示した。

【関連イベント】

対話による鑑賞会「ギャラリー★で★トーク・アート」 (2月10日)

【主な掲載・放送等】

読売新聞(1/19 夕刊)、美術の窓、月刊美術、新美術新聞等で紹介されたほか、インターネットミュージアムや「美術展ナビ」では作家や作品が紹介された。

⑤ FACE展2025

会期:3月1日(土)~3月23日(日)

共催:読売新聞社 特別協賛:SOMPOホールディングス

特別協力:損保ジャパン 後援:文化庁、東京都、新宿区

本展では第13回目となる公募コンテストで入選した57点を展示した。

【関連イベント】

表彰式・内覧会 (2月28日)

対話による鑑賞会「ギャラリー★で★トーク・アート」 (3月17日)

【主な掲載・放送等】

読売新聞(2/22 朝刊)、美術の窓、月刊美術、新美術新聞、ウェブサイト「インターネットミュージアム」「美術展ナビ」で紹介されたほか、コンペ情報サイト「登竜門」やウェブ版「美術手帖」にグランプリ受賞作家のインタビュー記事を掲載した。

(2) 展覧会鑑賞支援

① 資料の配布・掲載

- A. 全ての展覧会で作品リストを配布、当館ウェブサイトにも掲載した。
- B. 全ての展覧会で図録を作成、販売した。
- C. 来館者のスマホで多言語対応できるQRトランスレーターを使い、展覧会概要や章解説を6か国語(英語、中国繁体字・簡体字、韓国語、仏語、スペイン語)で表示した。
- D. 「ロートレック展」において、小冊子『新宿のムーラン・ルージュ』を配布した。
- E. 「ロートレック展」では小学生向けに「ぬり絵工作キット」を配布するとともに当館ウェブサイトに掲載した。
- F. 「北欧の神秘」と「カナレットとヴェネツィアの輝き」で、鑑賞の手引きとして「鑑賞ガイド」を配布した。

② 学芸員によるギャラリートーク

金曜日の18時半から学芸員によるギャラリートーク(約40分)を予約制で実施。イヤホンガイドを装着し、学芸員の解説を聞きながら作品鑑賞を行った。

北欧の神秘	5月10日(金)	参加者 20名
	5月24日(金)	参加者 19名
ロートレック展	7月5日(金)	参加者 13名
	8月2日(金)	参加者 11名
カナレットとヴェネツィアの輝き	10月18日(金)	参加者 18名
	10月25日(金)	参加者 17名

③ 映像、音声等の活用

- A. 「ロートレック展」会期中、日本におけるレビュー等の劇場文化と美術の交流及び新宿での展開について紹介した映像を美術館2階で常時上映した。
- B. 「ロートレック展」では、展示室移動時の階段にてパリの雑踏をイメージする音源を流し、当時の雰囲気を感じてもらった。
- C. 「カナレットとヴェネツィアの輝き」では声優をナビゲーターとする音声ガイド(約30分、650円)を貸し出した。
- D. 「カナレットとヴェネツィアの輝き」では展示室でヴェネツィアやカナレットの作品を紹介する映像2種を常時上映した。

(3) 2024年度展覧会別観覧者数

(単位:人)

会期	展覧会名	開館日数	有料計	無料計	合計	1日平均
4/1-6/9	北欧の神秘	62	43,503	17,626	61,129	986
6/22-9/23	ロートレック展	84	55,650	29,437	76,087	906
10/12-12/28	カナレットと ヴェネツィアの輝き	69	41,264	20,664	61,928	898
1/18-2/11	絵画のゆくえ2025	21	5,205	3,352	8,557	407
3/1-3/23	FACE展2025	20	5,202	3,308	8,510	425
合計		256	150,824	65,387	216,211	844
<参考> 前年度合計		237	257,897	89,162	347,059	1,464

(4) 館蔵品・資料・文献の収集・整備(博物館法第13条第1項第3号)

① 館蔵品展示

ゴッホ《ひまわり》は3階展示ケースで常設展示、その他館蔵品は以下のとおり展示した。

A. 絵画のゆくえ2025

東郷青児 《望郷》《超現実派の散歩》《ラケット》

グランマ・モーゼス 《フージック・フォールズ、ニューヨークⅡ》

B. FACE展2025

「FACE展」第1回～第12回の「グランプリ」受賞作品及び美術館大賞作品

【《ひまわり》に関する主な掲載・放送等】

テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」(5/28 放送)、テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」(2/17 放送)、日本テレビ「ヒルナンデス！」(2/20 放送)、ウェブサイト「朝日マリオンコム」(2/4)

② 収集に関する事項

A. 美術作品の受贈

個人から東郷青児の油彩画3点《婦人像A》《婦人像B》《婦人像C》（8月1日）

B. FACE2025グランプリ作品齋藤大《キャンプファイヤ》（2月28日）

③ 美術資料の収集

東郷青児絵はがき（9種）

④ 館蔵品の保全

A. セザンヌ《りんごとナプキン》の輸送用クレートを作成した。（2月）

B. 作品の棚卸や状態点検を実施するとともに定期的に収蔵庫清掃を実施した。

C. ゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》のメンテナンス作業を実施した。

（2月15日～2月23日）

D. 保管倉庫の空調設備を拡充した。

（2月17日稼働開始）

E. 害虫発生状況の定期的な調査により、薬剤散布による防虫防除処理なし。

⑤ 作品・資料等のデータ整備

当館ウェブサイト経由で館蔵品情報を公開しており、順次画像データの公開と情報の充実に取り組んだ。また、全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」にも情報提供を行った。

⑥ 著作権の管理

東郷青児、東郷たまみの著作権は管理規程に基づき適正に管理した。（36件許諾）

(5) 館蔵品の貸与等

① 館蔵品貸与実績

作品名	貸与先等
東郷青児《超現実派の散歩》	『『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本』展 板橋区立美術館(会期:3月2日～4月14日) 三重県立美術館(会期:4月27日～6月30日)
ポール・ゴーギャン 《アリスカンの並木路、アルル》	「ゴーギャンの世界」オーストラリア国立美術館 (会期:6月28日～10月7日)
東郷青児作品 78点	「特別展 東郷青児 美の変奏曲」 神戸市立小磯記念美術館 (会期:10月5日～12月15日)

② ゴッホ美術館の学術調査に協力し、ポール・ゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》のX線写真を提供した。

(6) 調査・研究(博物館法第13条第3項)

① 運営委員会の開催

館長の諮問機関である運営委員会を3回(5月、9月、2月)開催し、展覧会に関する意見聴取等を行った。

運営委員は高橋明也氏(東京都美術館館長)、児島薫氏(実践女子大学教授)、大島徹也氏(多摩美術大学教授)、増子美穂氏(東洋大学教授)の4名である。

## ② 執筆・講演活動

- A. 「北欧の神秘」「ロートレック展」「カナレットとヴェネツィアの輝き」で展覧会図録の執筆、編集、翻訳に携わった。
- B. 「絵画のゆくえ2025」図録及び「FACE展2025」図録を発行した。
- C. 「北欧の神秘」と「カナレットとヴェネツィアの輝き」で、鑑賞ガイドを作成した。
- D. 「ロートレック展」で、日本におけるレビュー等の劇場文化と美術の交流及び新宿での展開について解説した小冊子『新宿のムーラン・ルージュ』を作成した。
- E. SOMPO美術館研究紀要第2号を発行した。  
テーマは以下のとおり。
  - 「北欧の神秘—ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画」展開催記念シンポジウム記録
  - ヴェネツィアにおけるヴェドゥータ成立史再考—15世紀から18世紀のカナレットに至るヴェネツィア都市表象の変遷
- F. 「美術の窓」(7月号)やサライ JP に寄稿し、ロートレック展を紹介した。
- G. 神戸市立小磯記念美術館「特別展 東郷青児 美の変奏曲」において講演会講師を務めた。

## <2> 展覧施設の運営管理(博物館法第13条第5項)

### (1) 施設運営

#### ① チケット販売

- A. 遊び予約サイト「アソビュー！」でのオンラインチケットやプレイガイド等での事前購入券やペア券を販売のほか、当館でも当日券を販売した。なお、「ロートレック」展では「アソビュー！」での日時指定予約を推奨した。
  - B. 「ロートレック展」以外の展覧会で、訪日外国人向けチケットパス「THE TOKYO PASS」に参加した。
  - C. 「東京・ミュージアムぐるっとパス2024」に加盟し、年間通して当日券の割引販売を実施した。
  - D. 年間パスポートを2024年6月末までオンライン販売した。(累計販売数 518枚、のべ入場者 2,413人)また、2月14日に次年度の展覧会全てに入場できる「年間パスポート2025」の販売を開始し、2025年6月末まで販売する。年間パスポートは、スマホアプリによるデジタルチケットで、年度内に何度でも入場可能、同行者1名は当日一般料金の半額で入場できる特典つき。
- ② 台風7号の接近に伴い、20時までの開館時間延長を中止し18時に閉館した。来館者には当日午前中にウェブサイトやSNSで告知し、大きな混乱はなかった。  
(8月16日)
- ③ ビル管理会社(SOMPOコーポレートサービス(株))に協力し、館内設備等の法定点検及び動作確認等を定期的実施した。

### (2) 来館者サービスの提供

- ① 西新宿のビジネスパーソンや新宿区民を主な対象に、毎週金曜日は20時まで開館時間を延長した。(「絵画のゆくえ2025」と「FACE展2025」を除く)
- ② 「北欧の神秘」では17時半以降の来館者にオリジナルステッカーをプレゼントした。

③ ミュージアムショップの運営

展覧会図録や館蔵品グッズの販売のほか、展覧会オリジナルグッズを受託販売した。仕入れ価格の高騰により、「カナレットとヴェネツィアの輝き」から館蔵品グッズの一部を値上げした。

④ ミュージアムカフェは、開館日の土日祝日に営業した。

(「絵画のゆくえ2025」と「FACE展2025」を除く)

<3> 広報・情報収集活動

(1) 展覧会及び美術館の広報活動

① 当年度展覧会広報

- A. 展覧会ごとにプレスリリースを作成し、プレス内覧会を開催した。
- B. 「国際博物館の日」を記念して、当日の来館者全員に、「北欧の神秘」オリジナルステッカーを配布した。(5月18日)
- C. 「北欧の神秘」において美術手帖と連携し、閉館後会員向けギャラリートークイベントを実施した。(5月23日)
- D. 「ロートレック展」では、休館日に協賛社による鑑賞会を開催した。  
(7/22 開催 参加者 1,030 名)
- E. 京王プラザホテルと連携し、ロートレック展チケット付き宿泊プランを販売した。
- F. ブックファーストと連携し、ロートレック展会期中、新宿店でロートレックフェアが開催された。
- G. ハイアットリージェンシー東京と連携し、2021年と同様に当館の《ひまわり》をテーマにしたアフタヌーンティー第2弾が企画された。(期間:7/1~9/30)
- H. 「ロートレック展」でスポットCMを作成し、日本テレビで6月から放送した。
- I. 「カナレットとヴェネツィアの輝き」でスポットCMを作成し、MXテレビ及び J-WAVE で9月から放送した。
- J. 全ての展覧会で新宿区の「後援」を取り、区の広報紙等で紹介するとともに、区の施設でチラシを配布した。また、FACE展では東京都や文化庁の「後援」も取り付けた。
- K. 損保ジャパン及びグループ会社の全国店舗での展覧会印刷物の配布等により、一般への告知を実施した。
- L. ArtSticker、みずほプレミアムクラブ、アートフェア等と提携し、展覧会情報を発信した。

② 次年度展覧会広報

- A. 来年度展覧会のプレチラシと年間スケジュールを作成し、館内や他館等で配布した。年間スケジュールは当館ウェブサイトでも公表している。
- B. 「美術展ぴあ」年末特集号や「芸術新潮」、「日経おとなのOFF」の展覧会特集号に記事を掲載した。
- C. 「藤田嗣治展」でスポットCMを作成し、J-WAVE で1月から放送した。

(2) ウェブサイト及びSNSによる情報発信

- ① 当館ウェブサイトでは、展覧会情報等の発信のほか、鑑賞ガイドやワークシートのダウンロードサービスの提供、各種イベントや通信販売の申込受付等を行った。
- ② 展覧会ごとにX、Instagram、Facebook を活用し、計画的に展覧会情報を発信した。
- ③ フォトスポットや作品の撮影許可により、来館者による展覧会情報の拡散を図った。

### (3) 広告の実施

- ① 東京メトロ乃木坂駅に年間通して展覧会ポスターを掲出した。
- ② 交通広告や新聞広告、SNS広告、メールマガジン配信による展覧会告知を行った。
- ③ 「FACE2025」では、読売新聞夕刊に受賞者決定の広告を掲出した。

## 2. 芸術文化の知見を活かして、社会課題の解決に取り組む

### <1> 福祉分野での芸術文化の活用

#### (1) 鑑賞動画

当館の展示作品を題材にした高齢者施設向け鑑賞動画「SOMPO美術館オンラインアートにふれる 10 分間」Vol. 1～5を作成し、SOMPOケアが運営する介護施設へ提供するとともに当館のウェブサイトで公開した。 (3月25日)

#### (2) 調査・研究

SOMPOグループのシンクタンクとの連携による高齢者の美術鑑賞に関する調査・研究に着手し、事務局が介護施設での鑑賞会のファシリテーターを務めた。 (3月5日)

### <2> 美術鑑賞教育の普及支援

#### (1) 対話による美術鑑賞

##### ① 新宿区小中学生の美術鑑賞教育支援事業

「新宿区における美術振興を図るための協働連携に関する覚書」に基づき、(公財)新宿未来創造財団と「新宿区立小学校及び新宿区立中学校の美術鑑賞教育に関する協定書」を締結。ガイドスタッフによる学校での事前授業支援や美術館での鑑賞会を実施した。多国籍の児童生徒の増加に伴い、鑑賞会で使用する学習ツールとして『多言語鑑賞カード』を活用している。

また、当年度は新宿区の学校現場向けの事業紹介パンフレットを刷新した。

##### 【事業実施結果】

事前授業	小学 23 校 1,114 名、中学校 6 校 513 名 合計 29 校 1,627 名	ガイドスタッフ 延べ 543 名
鑑賞会	小学校 29 校 1,520 名、中学校 6 校 538 名 合計 35 校 2,058 名	ガイドスタッフ 延べ 883 名
ガイドスタッフ在籍数 83 名 活動延べ人数 1,426 名		

##### ② 対話による鑑賞会「ギャラリー★で★トーク・アート」(予約制)

休館日にガイドスタッフや他の参加者と対話をしながら作品を楽しむ鑑賞会を開催した。「ロートレック展」では、夏休み企画として「ふぁみりー★で★とーく・あーと」と銘打ち、家族やグループでの参加を呼びかけた。

北政の神秘	6 月 3 日(月) 14 時～16 時	参加者 53 名(うち中学生以下 5 名) ガイドスタッフ 29 名
ロートレック展	8 月 5 日(月) 9 時半～11 時半	参加者 50 名(うち中学生以下 19 名) ガイドスタッフ 26 名
カナレットと ヴェネツィアの輝き	11 月 25 日(月) 14 時～16 時	参加者 48 名(うち中学生以下 1 名) ガイドスタッフ 26 名
絵画のゆくえ2025	2 月 10 日(月) 14 時～16 時	参加者 30 名 ガイドスタッフ 26 名
FACE展2025	3 月 17 日(月) 14 時～16 時	参加者 23 名 ガイドスタッフ 23 名

### <3> 美術家の支援、表彰

#### (1) 「FACE」の全国公募コンテスト

##### ① 「FACE2025」の選考 (11月10日)

業務委託先(ヤマト運輸(株))の倉庫にて審査会を実施し、1,312点の応募作品から「入選審査」と「賞審査」を経て、入選作品57点(うち受賞作品9点)を決定した。前年度に引き続き25歳以下の申込料を無料にし、青少年の出品を推進するとともに、更なる支援策として「U30フロンティア賞」を新設した。

選考結果は当館及び業務委託先のウェブサイトで公表した。

コンテストの審査員は以下の5名である。

椿玲子氏(森美術館キュレーター)、大島徹也氏(多摩美術大学教授)、  
森谷佳永氏(神奈川県民ホールギャラリー学芸員)、  
秋田美緒氏(国立西洋美術館学芸課研究員)、当館館長西脇芳和

#### 【受賞作品9点】

賞名	副賞金	作家名	作品
グランプリ	300万円	齋藤 大	キャンプファイヤ
優秀賞	各50万円	春日佳歩	必要条件
		HUANG YUQI	物事の秩序 II
		竹内美樹	祖母宅の庭
アンダーサーティ U 3 0 フロンティア賞	30万円	山岸月菜	父を背負う弟
椿玲子 審査員特別賞	各10万円	星野明日香	Siblings
大島徹也 審査員特別賞		ジェイリン 祝重	Daydream
森谷佳永 審査員特別賞		The Mp	二千二十五の顔
秋田美緒 審査員特別賞		田中優楽	concession
オーディエンス賞	各3万円	川並宏造	幻影
		山下千里	addiction

##### ② 「FACE2025」表彰式 (2月28日)

表彰式を開催し、受賞者への盾の授与やフォトセッションを行うとともに、受賞・入選作家が審査員や美術関係者、マスコミ等とつながる場を提供した。

##### ③ 「FACE2026」公募コンテスト

コンペを実施し、FACE創設後初めてロゴ等のデザイン一式をリニューアルした。

コンテストの審査員は次の5名である。

椿玲子氏(森美術館キュレーター)、森谷佳永氏(神奈川県民ホール  
 ギャラリー学芸員)、秋田美緒氏(国立西洋美術館研究員)、  
 田中龍也氏(群馬県立近代美術館学芸員)、当館館長西脇芳和

④ 公募規定

「FACE2026」公募規定を当館ウェブサイトに掲載するとともに前回の応募者全員  
 に発送し、館内でも配布した。

(2) SOMPO美術館賞の授与

新進美術家の支援・育成を目的とする「SOMPO美術館賞」を22の美術団体が実施す  
 る公募展における平面作品の受賞者に授与した。

番号	展覧会名	授与日	受賞者	受賞作品名
1	第 83 回 創元展	R6.4.3	渡辺 利恵	NO.154
2	第 74 回 モダンアート展	R6.4.3	関根 慎一郎	響
3	第 77 回 示現会展	R6.4.3	内藤 利博	二十歳を前に
4	第 83 回 水彩連盟展	R6.4.6	高山 法雄	伝統を紡ぐ
5	第 110 回記念 光風会展	R6.4.17	福本 弥生	time on the table
6	第 101 回 春陽展	R6.4.20	BRENDLE JOERG	GUAYABA '24-1
7	第 90 回記念 東光展	R6.4.26	桐生 義也	怒
8	第 98 回 国展	R6.5.1	長谷川 輝和	とあるヨル、とあるアサ
9	第 119 回 太平洋展	R6.5.15	吉田 尚治	きたみち
10	第 90 回記念 旺玄展	R6.5.22	山田 徹	陽のあたる場所へ
11	第 38 回 日洋展	R6.5.29	泥谷 恵里	Child
12	第 80 回記念 現展	R6.6.1	水上 卓哉	いのちの大樹 (武名のガジュマル)
13	第 77 回 女流画家協会展	R6.6.6	高橋 幸子	道供養碑の宴
14	第 111 回 日本水彩展	R6.6.27	中村 恵美子	お気に入りの場所
15	第 108 回 二科展	R6.9.4	今野 真由美	今日の終わりに
16	第 87 回 新制作展	R6.9.18	春日 佳歩	私たちは分離したまま、
17	第 79 回 行動展	R6.9.21	手塚 昌広	ZERO I
18	第 85 回記念 一水会展	R6.9.23	功野 智恵子	暮色
19	第 91 回 版画展	R6.10.13	木村 美咲	灯火を紡ぐ
20	第 91 回 独立展	R6.10.16	東田 理佐	peredaran
21	第 77 回 二紀展	R6.10.19	山内 透	ともちゃん
22	第 101 回 白日会展	R7.3.19	小野 彩華	屋下がりの画室

#### <4> 油彩画等の保存修復に関する新たな取組

##### (1) 要員体制の整備

運営責任者の事務局常駐(SOMPOホールディングスから兼務出向)に引き続き、7月には実務責任者を採用した。また、前年度に引き続き以下3名にアドバイザーを委嘱した。

木島隆康氏(修復家、東京藝術大学名誉教授)、秋元雄史氏(東京藝術大学名誉教授)、村松裕美氏(修復家)

##### (2) SOMPOホールディングス、損保ジャパンとの連携

共同プロジェクトチームにより、定期的に作品調査や保存修復室の設計・施工に関する検討や情報共有、進捗確認等を行っている。また、損保ジャパン所蔵美術品の作品調査等に着手した。

#### <5> ネットワークの構築・活用

##### (1) 情報収集活動

日本博物館協会や全国美術館会議、私立美術館会議が開催する会議等への出席や国内外美術館への表敬訪問等を通じて情報収集や意見交換を行った。

また、3月7日に開催した全国美術館会議学芸員研修会(情報・資料研究部会)は当館が共催館として会場を提供し、館長が主催者挨拶を行った。

##### (2) デジタル活用

- ① 東京都による「西新宿先端サービス実装・産官学コンソーシアム」の地域会員として、西新宿に設置されたデジタルサイネージに広告を掲載した。(4月～5月)
- ② 西新宿で先端のスマートサービスを体験できる「スマートシティフェスタ」(新宿中央公園)に参加した。(10月18日)
- ③ 東京都が実施する西新宿バリアフリー事業「障害のある方等の移動や訪問先での「コミュニケーションを支援するスマートフォンアプリを活用したサービス」の実証に協力した。(11月15日～28日)
- ④ 高齢者施設向けの鑑賞動画を公開するため当館ウェブサイトを改修した。また、FACEアーカイブス(過去の入選作品全点の画像及び作家紹介)を日英2か国語で公開する準備を行い、第一弾として3月に「FACE2024」入選作品を公開した。
- ⑤ FACE展から館内のレジスターをタッチ決済対応機種にリニューアルした。

##### (3) 公共への協力

- ① 新宿消防署主催の児童画展審査会に協力し、当館学芸員が審査員を務めた。
- ② 「ロートレック展」で新宿区民を対象に、美術館閉館後に貸切で開館し、学芸員によるギャラリートークを実施した。(参加者34名)(8月17日)
- ③ 東北芸術工科大学文化財保存修復学科の博物館実習に協力した。(9月17日)
- ④ 早稲田大学坂上ゼミの学生から新宿のアート施設に関する取材依頼に対応した。(9月20日)
- ⑤ 新宿区主催の新宿フィールドミュージアム(10/1～11/30)に参加した。

## Ⅱ. 法人の概況

### 1. 沿革

- 1976年6月1日 財団法人安田火災美術財団設立
- 1976年7月8日 東郷青児美術館を安田火災(現:損保ジャパン)本社ビル42階に開設
- 1987年4月1日 安田火災東郷青児美術館に館名変更
- 2002年7月1日 財団法人損保ジャパン美術財団に名称変更  
損保ジャパン東郷青児美術館に館名変更
- 2010年4月1日 公益法人に移行し、公益財団法人損保ジャパン美術財団に名称変更
- 2014年9月1日 公益財団法人損保ジャパン日本興亜美術財団に名称変更  
東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館に館名変更
- 2020年4月1日 公益財団法人SOMPO美術財団に名称変更  
SOMPO美術館に館名変更し、新美術館棟へ移転
- 2020年7月10日 移転後初の展覧会「開館記念展」開幕
- 2023年3月22日 SOMPO美術財団のパーパスを策定

### 2. 定款に定める目的

この法人は、絵画、彫刻等の美術作品を収集し、保存するとともに広く一般の鑑賞に供し、併せて新進の創作を奨励し、もって我が国芸術文化の振興と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 美術作品の収集、保存、公開
- (2) 展覧施設の運営管理
- (3) 美術家の支援、表彰
- (4) 美術鑑賞の教育普及
- (5) 頒布品の製作、販売
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. SOMPO美術財団のパーパス

“安心・安全で信頼される美術館として 芸術文化で心豊かな社会をつくり 芸術文化を未来へつなぐ“

＜社会に提供する3つの価値＞

- 多様性のある人材やつながりにより、芸術文化の今と未来をつくる力を育む
- 身近な美術鑑賞の場の提供により、人々の感性と知的好奇心を刺激する
- ≪ひまわり≫をはじめとするコレクションを守り、活動成果とともに未来に残す

### 5. 主たる事務所

東京都新宿区西新宿一丁目26番1号

6. 役員等に関する事項

2024年度末現在

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
理事長 代表理事 (常勤)	櫻田 謙悟	2024.6.27	前SOMPOホールディングス(株) グループCEO取締役代表執行役会長	2022.6.23
専務理事 業務執行理事 (常勤)	西脇 芳和	2024.6.27	SOMPO美術館館長	2024.6.27
理事 (非常勤)	今野 秀洋	2024.6.27	(一財)貿易・産業協力振興財団理事長	2016.6.29
理事 (非常勤)	山脇 晴子	2024.6.27	中央更生保護審査会常勤委員	2018.6.29
理事 (非常勤)	垣内 恵美子	2024.6.27	政策研究大学院大学名誉教授	2022.6.23
理事 (非常勤)	木下 直之	2024.6.27	静岡県立美術館館長	2024.6.27
理事 (非常勤)	村上 博哉	2024.6.27	武蔵野美術大学教授	2024.6.27
監事 (非常勤)	新里 智弘	2024.6.27	公認会計士	2007.6.19
監事 (非常勤)	内田 満雄	2024.6.27	公認会計士	2016.6.29
評議員 (非常勤)	宝木 範義	2022.6.23	美術評論家	2008.6.24
評議員 (非常勤)	小佐野 重利	2022.6.23	東京大学大学院新領域創成科学研究 科特任研究員、東京大学名誉教授	2009.3.31
評議員 (非常勤)	加藤 種男	2022.6.23	(公財)静岡県文化財団副理事長、 クリエイティブ・ディレクター	2016.6.29
評議員 (非常勤)	越川 倫明	2022.6.23	東京藝術大学教授	2016.6.29
評議員 (非常勤)	河村 潤子	2022.6.23	(独)日本芸術文化振興会顧問	2022.6.23
評議員 (非常勤)	高橋 明也	2022.6.23	東京都美術館館長	2022.6.23
評議員 (非常勤)	松本 透	2022.6.23	アーティゾン美術館副館長	2022.6.23
評議員 (非常勤)	山梨 絵美子	2022.6.23	千葉市美術館館長、 (公財)日本博物館協会会長	2022.6.23
評議員 (非常勤)	下川 亮子	2022.6.23	SOMPOホールディングス(株) グループCSuO執行役	2022.6.23

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
評議員 (非常勤)	渡邊 光一郎	2023.6.29	第一生命保険(株)特別顧問	2023.6.29
評議員 (非常勤)	生嶋 章宏	2024.6.27	DIC(株)DIC川村記念美術館館長	2024.6.27
評議員 (非常勤)	鈴木 俊一郎	2024.6.27	SOMPOホールディングス(株) 渉外部長	2024.6.27

## 7. 職員に関する事項

2024年度末現在

職名	氏名	就業年月日	担任業務	備考
事務局長	須山 直樹	2024.4.1	事務局事務統括	損害保険ジャパン(株)より出向(常駐)
理事長補佐	古田 一志	2024.5.1	理事長補佐	SOMPOホールディングス(株)より兼務出向(非常駐)
理事長秘書	渡辺 友紀	2024.5.1	理事長秘書業務	損害保険ジャパン(株)より兼務出向(非常駐)
担当部長	村田 明弘	2018.4.1	契約、渉外、広報事務等	損害保険ジャパン(株)より出向(常駐)
参事 (学芸担当)	江川 均	1998.4.1	資料の収集・保管・展示等補佐	
上席学芸員	小林 晶子	1997.9.1	資料の収集・保管・展示、 調査研究、その他専門的業務	
上席学芸員	中島 啓子	1997.10.1	〃	
主任学芸員	中村 祐美子	2023.4.1	〃	
主任学芸員	武笠 由以子	2017.10.1	〃	
主任学芸員	岡坂 桜子	2019.1.1	〃	
学芸員	桑名 真吾	2023.7.1	〃	
学芸員	古舘 遼	2023.7.1	〃	
学芸員	朝倉 南	2022.7.1	〃	
プロジェクト リーダー	安西 慧	2023.11.1	保存修復プロジェクト等 新事業関連業務	SOMPOホールディングス(株)より兼務出向(常駐)
保存修復準備室 リーダー	高橋 香里	2024.7.1	保存修復実務責任者	
事務課長	出口 知子	1999.10.1	財団総務・美術館運営事務等	
事務職員	本條 志穂	2003.10.1	美術館運営事務・広報事務等	

職名	氏名	就業年月日	担任業務	備考
事務職員	池田 美紀	2012.4.1	美術館運営事務等	
事務職員	杉本 典子	2012.4.1	美術館広報事務等	
事務職員	吉井 有紀	2013.4.1	鑑賞教育事務等	
事務職員	野村 悦子	2025.2.1	美術館広報事務等	
事務職員	春名 裕子	2025.2.1	美術館運営事務等	
嘱託職員	宮本 明雄	2025.3.1	経理事務等	

## 8. 役員会等に関する事項

### <1> 理事会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
2024年6月12日	<p>■決議事項</p> <p>2023年度事業報告及び決算報告の承認 定時評議員会の招集</p> <p>■報告事項</p> <p>活動状況報告（2024年3月14日～6月10日） 理事長・専務理事の職務執行状況 （2024年3月14日～6月10日） 理事長と専務理事の職務執行の役割分担等 （中間報告）</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決</p>
2024年6月27日	<p>■決議事項</p> <p>理事長の選定 専務理事の選定等 定例役員報酬の承認 2024年度収支予算の変更 理事の利益相反取引の承認</p> <p>■報告事項</p> <p>理事長・専務理事の職務執行の役割分担等</p>	<p>櫻田謙悟を選定 西脇芳和を選定 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決</p>
2025年3月19日	<p>■決議事項</p> <p>2025年度事業計画及び収支予算等の承認 2026年度展覧会の開催 特定費用準備資金等の積立 役員賠償責任保険契約の締結 理事の利益相反取引の承認</p> <p>■報告事項</p> <p>2027年度以降の展覧会準備状況 活動状況報告 （2024年6月11日～2025年3月9日） 理事長・専務理事の職務執行状況 （2024年6月11日～2025年3月9日）</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決</p>

## <2> 評議員会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
2024年6月27日	<b>■決議事項</b> 2023年度決算報告の承認 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改定等 評議員の選任 任期満了に伴う役員の選任 <b>■報告事項</b> 2023年度事業報告 2024年度事業計画及び収支予算等 2025年度展覧会の開催	原案どおり可決 原案どおり可決  原案どおり選任 原案どおり選任

## 9. 許可、認可、届出、承認及びその他の重要事項

届出等年月日	申請等事項
2024年5月28日	東京都教育委員会へ博物館等運営状況定期報告書等を提出
2024年6月15日	東京都及び文部科学省へ「青少年を対象とした取組等に関する実績報告(2023年度)」を提出
2024年6月29日	内閣府へ2023年度事業報告等を届出
2024年7月30日	内閣府へ理事・評議員の変更、役員等報酬規程の改定について届出
2024年11月1日	健康保険組合連合会東京連合会による健康優良企業「銀」の認定
2025年3月27日	内閣府へ2025年度事業計画書等を届出
2025年3月27日	内閣府へ評議員の変更を届出

## 10. 寄付金等に関する事項

寄付の目的	寄付者	領収金額
公益目的事業に充当	SOMPOホールディングス(株)	142,700,000円
	法人・団体 25件	6,380,000円
	個人 35件	1,170,000円
法人の管理運営に充当	SOMPOホールディングス(株)	36,300,000円

## 11. 行政庁指示に関する事項

該当なし

## 12. その他

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、特記事項がないため作成していない。

以上